

(様式第2号)(第14条関係)

太陽光発電施設設置許可申請書

令和8年 7月 24日

長野県知事 様

住所 京都市中京区烏丸通錦小路上ル手洗水町659
鳥丸中央ビル
氏名 株式会社エクソル
代表取締役 鈴木伸一

長野県地域と調和した太陽光発電事業の推進に関する条例第14条第1項の規定により、下記のとおり申請します。

記

太陽光発電施設の設置の場所		上田市生田字上平1003-3, 1002-8
事業区域の位置及び面積		別添位置図及び事業区域図のとおり 1365.5㎡
太陽光発電施設の合計出力		49.5 kW (太陽電池の合計出力 99.84kW)
太陽光 発電事 業の内 容及び 実施予 定期間	発電電力の用途	☒ 売電 ☐ 自家消費 設備ID (無し 小売電気事業者との相対契約)
	設置工事着手予定日	令和 8年 10月 9日
	設置工事完了予定日	令和 9年 4月 9日
	運転開始予定日	令和 9年 5月 9日
	施設撤去予定日	令和 49年 5月 9日
太陽光発電施設の設置に関する計画		別添「太陽光発電施設設置計画書」参照
太陽光発電施設の構造に関する事項		地上設置型太陽光発電システムの設計ガイドライン等を参照の上、設計会社による強度計算を行い、架台について風雪に耐えられる強固なものとする。
景観保全のための措置の検討に関する事項		別添「景観の保全のための措置の検討状況書」参照
環境の保全のための措置の検討に関する事項 ※環境配慮区域に太陽光発電施設を設置する場合に限る。		該当あり
備考		連絡先 【書類作成に関して】株式会社グリーンプランフォー (電話番号) 0268-71-6750 (FAX番号) 0268-71-6751 (電子メールアドレス) kinokopw4170@gmail.com 【その他に関して】株式会社エクソル 担当川口 (電話番号) 070-8786-8343 (電子メールアドレス) minemurahuminari@gmail.com

注1 該当する□内に△印を記入すること。

2 「太陽光発電施設の設置の場所」欄は、提出に係る太陽光発電施設の事業区域が所在す

る土地の地番全て記載すること。

3 「事業区域の面積」欄には、小数第1位まで記載すること。

4 「太陽光発電施設の合計出力」欄は、小数第1位まで記載すること。

5 「発電出力の用途」欄は、再生可能エネルギー電気の利用の促進に関する特別措置法（平成23年法律第108号）第9条第1項の規定による申請手続中の場合は、その旨を記載すること。

6 「備考」欄は、電話番号、FAX、電子メールアドレス等の連絡先を記載すること。

- (添付書類)
- 1 位置図
 - 2 事業区域図
 - 3 登記事項証明書（申請者が法人である場合に限る。）
 - 4 誓約書
 - 5 太陽光発電施設の配置図
 - 6 土地の形質変更を行う場合にあつては、当該土地の造形計画の平面図、縦断面図及び横断面図
 - 7 擁壁を設置する場合にあつては、当該擁壁の構造図
 - 8 排水計画に係る平面図及び断面図
 - 9 太陽光発電施設の構造に関する図面
 - 10 現況写真
 - 11 条例第11条の書面
 - 12 その他知事が必要と認める書類

(参考様式) (第9条関係)

太陽光発電施設設置計画書

防災対策等設置施設	☐ 調整池 ☐ 沈砂池 ☒ 排水設備 ☐ 擁壁 ☐ 管理用道路 ☐ その他（ ）		
特定区域の該当 ※該当するものは事業区域図に明示すること	☒ 地域森林計画対象民有林 ☐ 地すべり防止区域 ☐ 急傾斜地崩壊危険区域 ☐ 土砂災害特別警戒区域 ☐ 砂防指定地 ☐ 該当なし		
環境配慮区域の該当 ※50 キロワット以上の事業に限る ※該当するものは事業区域図に明示すること	☒ 国有林・地域森林計画対象民有林 ☐ 国立公園・国定公園・長野県立自然公園 ☐ 長野県自然環境保全地域 ☐ 郷土環境保全地域 ☐ 水道水源保全地区 ☐ 水資源保全地域 ☐ 希少野生動植物の生息地等保護区 ☐ 鳥獣保護区 ☐ 該当なし		
工程表	別紙		
工事車両の運行計画	想定される台数（延べ） 3 台 / 1 日（延べ 400 台） 運行時間 8：00～17：00 経路 別紙事業区域図に記入		
造成工事	盛土の有無	(有) ・ 無	想定盛土量 296 m³ （内、小堤 40 m³、残土 36 m³は事業区内に敷き均す）
	切土の有無	(有) ・ 無	想定切土量 332 m³ （内、土側溝 27 m³）
	事業区域外からの搬入量		— m³
	事業区域からの搬入量		296 m³
排水処理設備の有無	(有) ・ 無		
	排出経路	小堤の内側及び土側溝にて自然浸透	
送電設備	☐ 鉄塔 ☒ 電柱 ☐ 地下埋設		

生田1003-3、1002-8 太陽光発電設備設置工事工程表

項目	2026年10月	2026年11月	2026年12月	2027年1月	2027年2月	2027年3月	2027年4月	2027年5月
準備・整地	←→							
杭打ち		←→						
架台設置			←→					
土側溝/小堤			←→					
パネル設置			←→					
フェンス設置						←→		
電気工事					←→			
電力関係								◇
完了								★

(参考様式) (第7条関係)

景観の保全のための措置の検討状況書

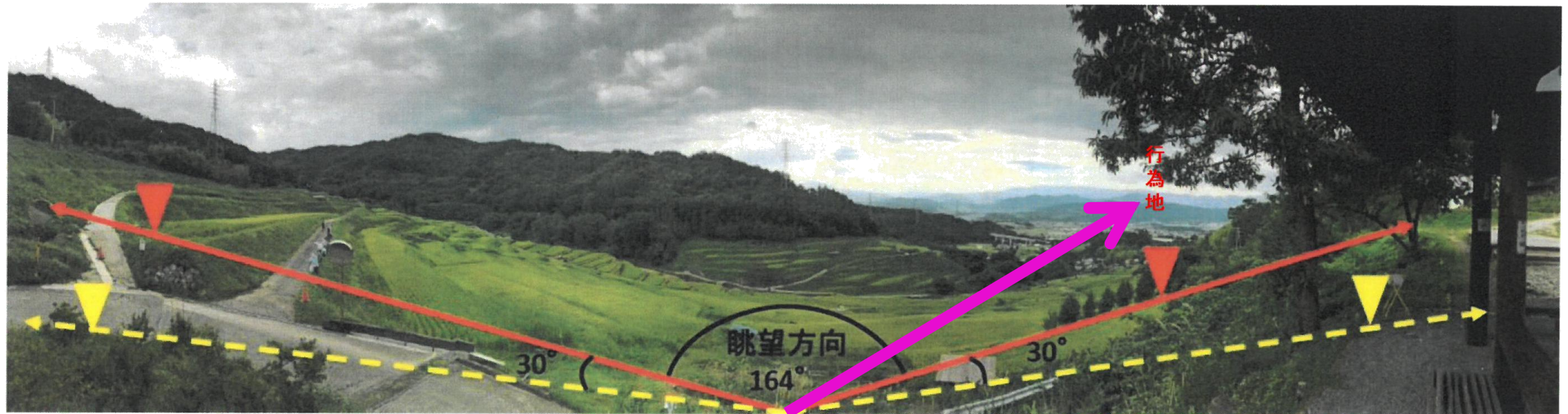
項 目		検 討 事 項	配慮する内容
太陽電池 モジュール	全体	(1) 稜線や斜面上部、高台等、周囲から見通せる場所は極力避ける。やむを得ずそのような場所を選定する場合は、尾根や地形の連続性が損なわれる等の違和感が生じないように、樹木の伐採や土地の掘削を最小限にとどめる。	周囲から見通せる場所ではない。
		(2) 公共的な眺望点からの景観への影響に特に留意し、完成予想図の作成（シミュレーション）等を実施する。 ※検討で作成した完成予想図は添付すること	小規模設置のため景観への影響は少ない
	配置	(1) 敷地が主要な道路や住宅の敷地等に隣接する場合は、太陽電池モジュールを境界から一定距離後退させる。	住宅や主要道路には隣接していない。
		(2) 施設の規模や地形等に応じて分割する等、大規模な平滑面が連続することを避ける。	大規模な平滑面が連続しないようにアレイを小さくして計画した。
	規模	(1) 周辺からの視界をできる限り遮らないよう、施設の高さは極力抑える。	施設の高さは最低限必要な積雪に対応した高さとした。
		(2) 主要な道路や公共的な眺望点から見える場合は、太陽電池モジュールの垂直投影面積を極力抑える。	広範囲にならないよう隔離などを最小限に抑えて設置面積を極力抑えた。
	形態・ 意匠	(1) 当該地に応じた架台を選定するとともに、太陽電池モジュールの向きや傾斜をそろえる等、配列に一定の規則性を持たせる。	パネル設置計画において出来るだけ同じ方角にそろえ、列を合わせ規則性を持たせた。
		(2) 太陽電池モジュールの傾斜角は、周囲の山並み、建築物の屋根等と極力整合させる。	地形に合わせた設置により周囲との整合性に配慮した。
		(3) 太陽電池モジュールの裏面が周辺の道路等から見えにくくする。	裏面である北側は山林なので見えない。

項 目		検 討 事 項		配慮する内容
太陽電池 モジュール	材料・ 色彩等	(1) 低反射のものを選択するか防眩処理を施す等、太陽光の反射を低減する対策を行う。また、素材の結晶が目立たないものを選択する。		周囲に配慮し、反射防止コーティングされたパネルを選定した。
		(2) 黒又は濃紺を基本とし、低明度かつ低彩度の目立たないものとする。		周囲に配慮し濃紺のパネルを選定した。
		フレーム	(1) 低反射の素材を用いる。	出来るだけ反射の少ないものを選定するよう配慮した。
			(2) 太陽電池モジュールと同系色を用いる。	同系色ではないが、なるべく目立たないよう配慮した。
附帯施設・ 附属施設		(1) フェンス等については、色彩、形態・意匠に配慮する。		自然の色に近いものを選定し茶色とした。
		(2) 電柱電線類については、極端に増加させないよう、低減に努める。		中部電力の指示に従い、対応をしていく。
		(3) 架台、パワーコンディショナー及び変圧器等の付属設備については、色彩等に配慮する。		できる限り色彩に配慮し、自然と調和の取れるものを選定した。
敷地の緑化		(1) 植栽計画にあたっては、効果が早期に発揮できるよう、根巻きを行った苗などの使用を検討するとともに、植栽間隔や苗木の大きさに配慮する。		植栽は行わない。
		(2) 樹種の選定にあたっては、外来種及び低木性の樹種を避け、地域に適した植生とする。		植栽は行わない。
その他		(1) 施設の規模が大きく主要な道路や住宅地に反射光の影響が懸念される場合は、配置や向き、傾斜の角度、材料、植栽等の遮へい措置について検討する。		配置や向き、傾斜角や材料などは近隣の方に迷惑をかけないように十分配慮していきたい。
		(2) 施設及び敷地内は、定期的に保守点検を行うなど、適切に維持管理を行い、景観の保守に努める。		月に1回定期点検を行う
		(3) 事業区域場所の景観行政団体の定める景観育成基準への適合を確認する。		適合を確認し、出来る限りの努力をした。

上記以外でも、設置箇所周辺の土地利用状況、周辺景観の状況に応じて、より効果的な配慮方法を工夫してください。

眺望点からの完成予定図

指定眺望点である信州稲倉の棚田 大曲からは地形(山)により遮蔽され当該地は見えない。



(参考様式) (第8条関係)

環境の保全のための措置の検討状況書

①検討の 対象項目	②事 業 内 容	③チェック	④環境保全措置の具体的な内容※1, 2, 3, 4
粉じん	(1) 事業区域に住居等が隣接するか	☐ はい ☒ いいえ	【(1)、(2)が<u>どちらも</u>「はい」の場合に記載】 工事時間は原則として日中に限定し、早朝・夜間の作業は行わない。安全運転を徹底し、建設機械及び車両の不要なアイドリング等十分に配慮する。
	(2) 切土・盛土を行う計画か	☒ はい ☐ いいえ	
騒音・振動	(3) 建設機械が稼働する計画か	☒ はい ☐ いいえ	【(3)、(4)が<u>どちらも</u>「はい」の場合に記載】 工事時間は原則として日中に限定し、早朝・夜間の作業は行わない。安全運転を徹底し、建設機械及び車両の不要なアイドリング等十分に配慮する。
	(4) 次のいずれかに該当するか ・近隣に住居等が存在する ・工事用車両の走行ルート沿いに住居等が存在する	☒ はい ☐ いいえ	
水環境	(5) 事業区域内に次のいずれかの区域が含まれるか ・水道水源保全地区 ・水資源保全地域	☐ はい ☒ いいえ	【(5)、(6)が<u>どちらも</u>「はい」の場合に記載】
	(6) 次のいずれかに該当するか ・薬液注入工法を採用する ・事業区域内で農薬を使用する	☐ はい ☒ いいえ	
動植物	(7) 事業区域内に次のいずれかの区域が含まれるか ・国立公園、国定公園、県立自然公園 ・長野県自然環境保全地域 ・希少野生動植物の生息地等保護区	☐ はい ☒ いいえ	【(7)～(8)の<u>いずれか又は両方</u>が「はい」の場合に記載】 上田市環境政策課へ確認したところ、事業区域及びその周辺における希少な動植物の生息・生育情報は得られなかったが、除草は農薬を使用せず草刈り等の機械除草を基本とし、できる限り周辺の自然環境及び水環境の保全に努める。

①検討の 対象項目	②事 業 内 容	③チェック	④環境保全措置の具体的な内容※1, 2, 3, 4
	(8) 事業区域内の次のいずれかの区域において、切土・盛土や樹木の伐採を行うか ・ 国有林、地域森林計画対象民有林 ・ 郷土環境保全地域 ・ 鳥獣保護区	☒ はい ☐ いいえ	
触れ合い 活動の場	(9) 事業区域内に次のいずれかの区域が含まれるか ・ 国立公園、国定公園、県立自然公園 ・ 郷土環境保全地域	☐ はい ☒ いいえ	【(9)、(10)がどちらも「はい」の場合に記載】
	(10) 次のいずれかに該当するか ・ 事業区域に触れ合い活動の場が含まれる ・ 事業区域や工事用車両の走行ルートが触れ合い活動の場に隣接する	☐ はい ☒ いいえ	

※1 ③列にチェックした結果、環境保全措置の検討が必須である場合において、環境保全措置を検討した結果、環境保全措置を不要と判断したときは、その旨及び理由を④列に記載すること。

※2 環境影響評価法又は環境影響評価条例の対象事業については、環境保全措置の具体的な内容の記載に代わり、環境影響評価図書（事業基本計画書においては計画段階環境配慮書や環境影響評価方法書、許可申請書又は設置届出書においては環境影響評価書）の写しを添付することも可能。

※3 許可申請書又は設置届出書の作成にあたり、事業基本計画書から④列の内容を変更した場合は、変更後の内容及びその理由を④列に記載すること。（④列のうち、変更していない箇所には、従前のとおり記載すること。）

※4 ③列にチェックした結果、環境保全措置の検討は必須ではないが、事業者が必要と判断して検討した環境保全措置の内容を④列に記載することは可能。

(参考様式) (第 19 条関係)

維 持 管 理 計 画

作成日

2026 年 5 月 20 日

太陽光発電施設の設置場所	上田市生田字上平 1003-3, 1002-8	
事業者名（法人にあつては、主たる事務所の所在地、名称、代表者の氏名、住所及び連絡先）	京都市中京区烏丸通錦小路上ル手洗水町 659 烏丸中央ビル 株式会社エクソル 代表取締役 鈴木伸一 TEL：03-5859-5419	
保守点検責任者	氏名及び住所	同上
	電話番号	同上
合計出力	49.5 kW	
維持管理の内容	別紙のとおり	
施設撤去予定日（事業終了予定日）	令和 49 年 5 月 9 日	
損害保険の加入状況	☐ 有 ☒ 無	
太陽光発電施設を撤去する際の対応	自社にて撤去を行い、天然更新により復旧予定。 FIT 法の廃棄費用積み立て制度に準拠し独自で積み立てを行う。	
維持管理計画及び状況の公表方法	月 1 回の自社による定期点検 請求があった際に開示する	

※標識に掲示することにより公表する場合には、標識の記載項目と同一のところは記載を省略することができます。

<太陽光発電施設等の周辺において土砂災害等が発生するおそれがある場合に予定している措置の内容>

中部電力、行政と連携をとり速やかに対応できるようにする。

<土砂災害等により太陽光発電施設の損壊が生じ、又は周辺地域の環境の保全に支障が生じた場合に予定している措置の内容>

土砂災害等により太陽光発電施設の損壊が生じた時には、二次災害が起きないように速やかに損壊部分を撤去し、周辺地域の環境の保全に支障が生じた場合には復旧作業を行い、いち早く元通りになるよう最善を尽くす。

<別紙>

太陽光を電気に変換する施設

対象	該当の有無	点検箇所	点検項目	点検方法	点検頻度	点検実施日
太陽電池アレイ	☑	太陽電池モジュール	表面及び裏面に著しい汚れ、きず、破損がない。	目視	年 12 回	1日
			端子箱に破損、変形がないか			
			フレームに著しい汚れ、きず、腐食、破損がない。			
	☑	コネクタ	破損、変形がなく確実に結合されている。			
	☑	ケーブル	配線に著しい汚れ、さび、腐食、きず、破損がない。			
			配線に過剰な張力、余分な緩みがない。			
	☑	電線管	破損、変形、汚損、腐食がなく正しく固定されている。			
	☑	接地線	接地線に著しい破損、断線がなく正しく接続されている。			
			接続部に緩み、破損がない。			
	☑	架台	基礎に著しいひずみ、損傷、ひびなどの破損が進行していない。			
架台の変形、きず、汚損、さび、腐食、破損がない。						
積雪による沈降、不等沈降、地際腐食等などの影響がない。						
ボルト、ナットの緩みがない。						
固定強度に不足の懸念がない。						
接続箱	☑	本体	著しい汚損、さび、腐食、破損、変形がない。			
			固定ボルトなどに緩みがなく確実に取り付けられている。			
			雨水、じんあい等の侵入がない。			
☑	配線	配線に著しい汚損、破損、きず、さびがなく正しく固定されている。				
漏電遮断器	☑	本体	著しい汚れ、さび、腐食、破損、変形などがない。			
	☑	配線	配線に著しいきず、破損がない。			
パワーコンディショナー	☑	本体	著しい汚れ、さび、腐食、きず、破損、変形がない。			
			固定ボルトなどに緩みがなく確実に取り付けられている。			

	☒		コーキングなどの防水処理に異常がなく雨水などの侵入がない。			
			運転時の異常な音、振動、臭い、加熱がない			
		配線	配線に著しい汚れ、破損、汚れ、さび、腐食、破損などがない。			

附帯施設

対象	該当の有無	点検箇所	点検項目	点検方法	点検頻度	点検実施日
法面・擁壁	☒	切土法面	小段の沈下がない。	目視	年 12 回	1日
			排水溝の損傷がない。			
			目地にずれがない。			
			開口量の大きな亀裂が発生していない。			
			吹付工法等の剥離がない。			
			法枠工法等の破断がない。			
			はらみ出しの発生がない。			
			大量の湧水（濁り）がない。			
			崩落がない。			
			上部斜面からの土砂流出がない。			
	☒	盛土法面	小段の沈下がない。			
			段差が発生していない。			
			排水溝の損傷がない。			
			法尻の崩落がない。			
			オーバーフローによる洗掘がない。			
			大量の湧水（濁り）がない。			
			湧水箇所の軟弱化がない。			
		擁壁	亀裂、割れが生じていない。			
			座屈、段差、傾斜がない。			
			つなぎ目にずれがない。			
			水抜き穴につまりがない。			
			水抜き穴から異常な土砂流出がない。			
			地山に変形がない。			
排水設備	☒	土側溝	水路に落下物等のつまり、堆積がない。			
			亀裂、ずれがない。			
			破損がない。			
			排水設備外への漏水がない。			
調整池	☐	堤体	上下流の法面に崩れ、亀裂、損傷、陥没、漏水がない。			
			堤頂に亀裂、沈下、損傷、陥没、漏水がない。			

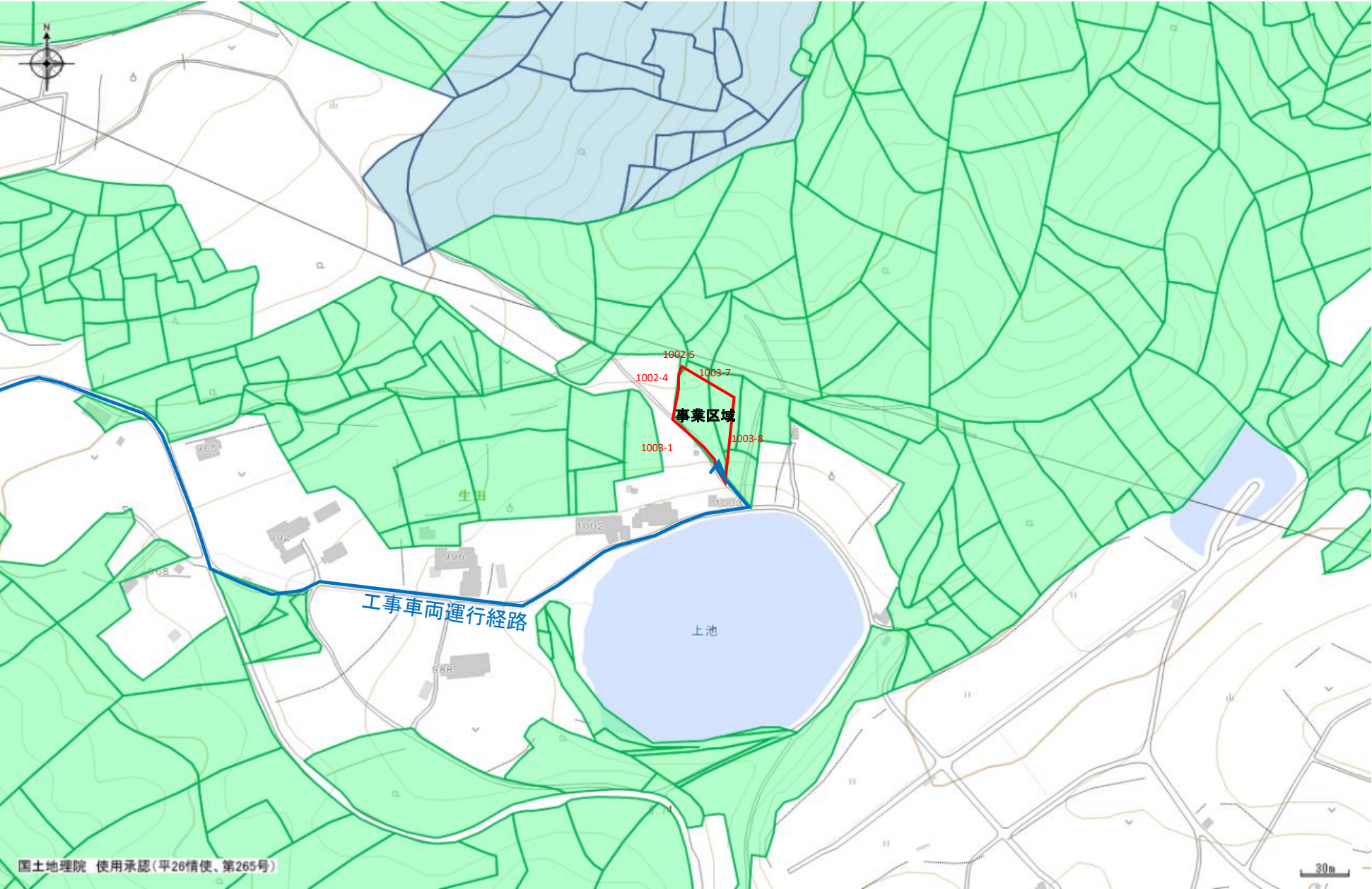
			草木の繁茂がない。			
	☐	基礎	堤体の基礎に漏水、地山のはらみ出し、沈下、崩壊がない。			
	☐	余水吐き	導流水路に亀裂、損傷、劣化、継ぎ目の開きがない。			
			越流部に亀裂、損傷、劣化、継ぎ目の開きがない。			
			放流水路に亀裂、損傷、劣化及び継ぎ目の開きがない。			
	☐	放流施設	規定の放流先以外への漏水、土砂の流出がない。			
			呑口部に亀裂、損傷、劣化、継ぎ目の開きがない。			
			吐き口に亀裂、損傷、劣化、継ぎ目の開きがない。			
			油等の浮遊がない。			
	☐	貯留部	法面に崩れ、亀裂、破損、湧水がない。			
			天端に損傷、沈下、陥没、損傷がない。			
			貯留部低地に著しい土砂の堆積がない。			
			油等の浮遊がない。			
			下流河川（周辺）に洗掘、崩壊がない。			
防護柵、塀	☒	フェンス（防護柵）	著しいさび、きず、破損、傾斜がない。			
	☒	標識（事業計画、注意喚起）	視認性を損なう汚れ、文字の色落ち、擦れ、破損がない。			
	☒	入口扉	開閉に異常がなく施錠に問題がない。			
進入路・管理道	☒	通路等	周辺からの土砂の流入、堆積がない。			
			事業地周辺への土砂の流出がない。			
			雨水等による洗掘がない。			
			草木の繁茂がない。			
設置地盤	☐	舗装あり地盤	亀裂、剥離がない。			
			段差、傾斜がない。			
			空洞の発生（土砂の流出）がない。			
			隆起の発生がない。			
設置地盤	☒	舗装なし地盤	周辺からの土砂の流入、堆積がない。			
			事業地周辺への土砂の流出がない。			
			雨水等による洗掘がない。			
			草木の繁茂がない。			

※施設の規模や立地、設備に応じた内容の点検項目を適宜追加してください。

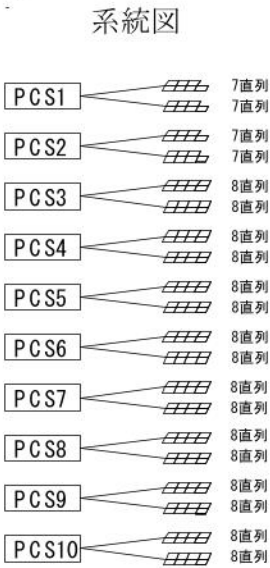
位置図



事業区域図(森林)



GP032
長野県上田市生田字上平1003-3, 1002-8



別図1
パネル設置イメージ図

別図2
表掘り側断面図

別図3
アレイ周りの小堤設置図

別図4
小堤断面図

別図5
パネルイメージ図
2382
1134
型式: JKM640N-66HL4M-BDV

別図6
フェンスイメージ 総延長: 130m

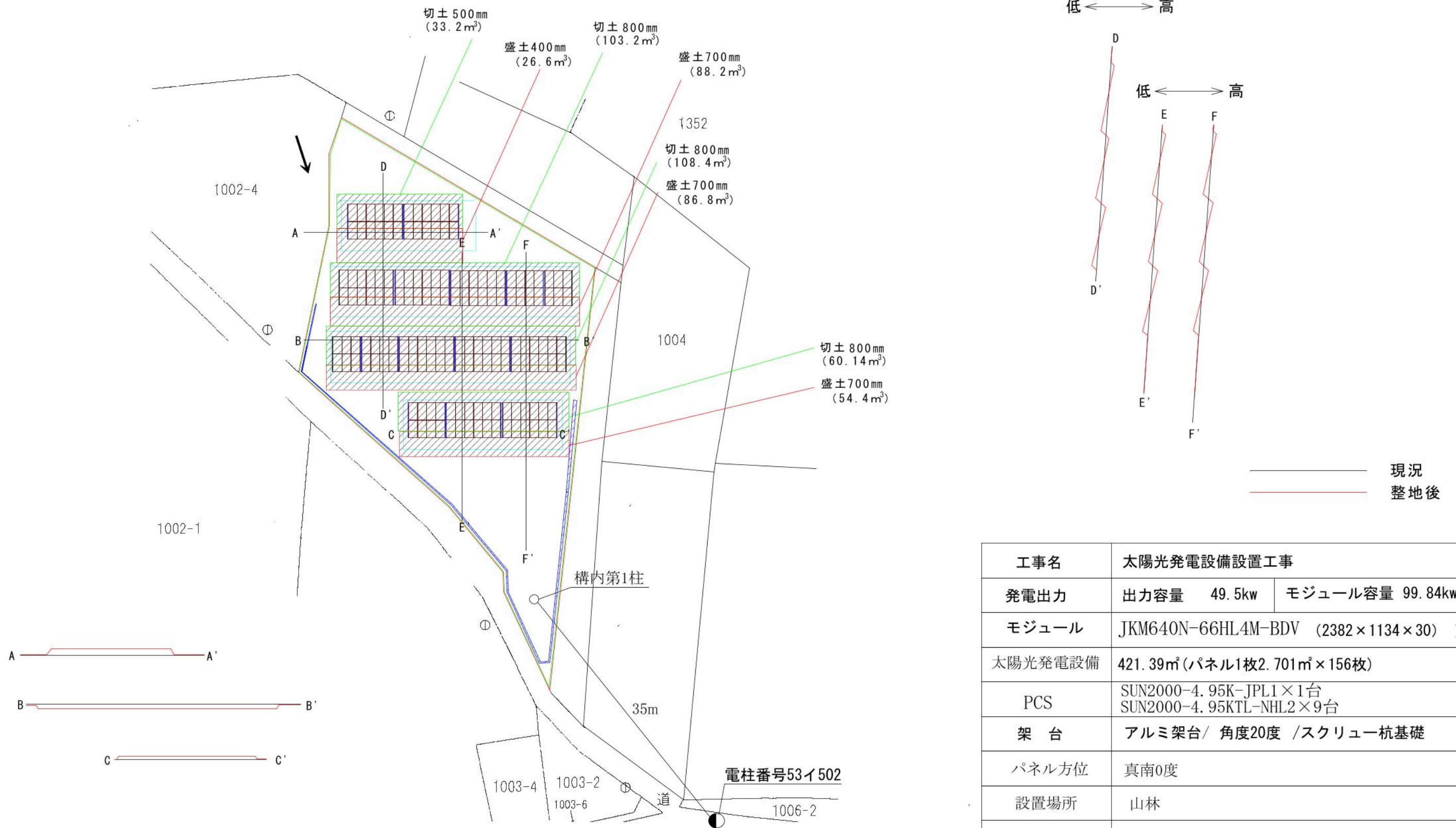
	雨水浸透土側溝
	フェンス
	敷地境界線
	雨水の流れ
	小堤

- ・境界からフェンス距離: 100mm
- ・フェンスからパネル距離: 1000mm
- ・アレイ間: 4000mm

工事名	太陽光発電設備設置工事	
発電出力	出力容量 49.5kw	モジュール容量 99.84kw
モジュール	JKM640N-66HL4M-BDV (2382×1134×30) 156枚	
太陽光発電設備	421.39㎡(パネル1枚2.701㎡×156枚)	
PCS	SUN2000-4.95K-JPL1×1台 SUN2000-4.95KTL-NHL2×9台	
架台	アルミ架台/ 角度20度 /スクリュー杭基礎	
パネル方位	真南0度	
設置場所	山林	
登記簿面積	1155㎡(1003-3), 209㎡(1002-8)	
事業面積	1365.5㎡	
雨水計画	土側溝延長: 93m	フェンス総延長: 150m

GP032
長野県上田市生田字上平1003-3, 1002-8

切土盛土分布図



工事名	太陽光発電設備設置工事	
発電出力	出力容量 49.5kw	モジュール容量 99.84kw
モジュール	JKM640N-66HL4M-BDV (2382×1134×30) 156枚	
太陽光発電設備	421.39㎡(パネル1枚2.701㎡×156枚)	
PCS	SUN2000-4.95K-JPL1×1台 SUN2000-4.95KTL-NHL2×9台	
架 台	アルミ架台/ 角度20度 /スクリュー杭基礎	
パネル方位	真南0度	
設置場所	山林	
登記簿面積	1155㎡(1003-3), 209㎡(1002-8)	
事業面積	1365.5㎡	
雨水計画	土側溝面積: ㎡	フェンス総延長: 150m

図面名	縮尺	作成日	作成者	モジュール枚数・容量
太陽光モジュール配置図	1/500	2026/5/27		640W×156枚=99.84kW

現況写真

①



②



現況写真撮影方向



(参考様式) (第11条・第13条関係)

事業基本計画説明状況書

令和8年 7月 24日作成

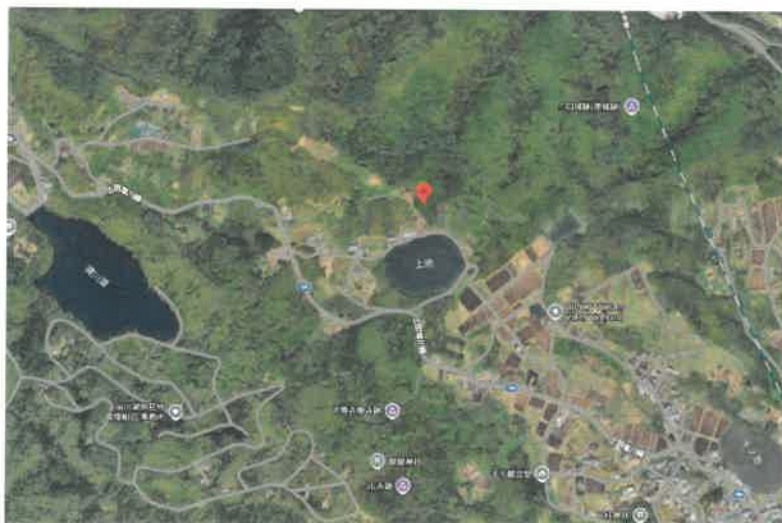
事業者の住所・氏名 (法人にあって、主たる事務所の所在地、名称及び代表者の氏名)		京都市中京区烏丸通錦小路上ル手洗水町659 烏丸中央ビル 株式会社エクソル 代表取締役 鈴木伸一
事業太陽光発電施設の設置の場所		上田市生田字上平1003-3, 1002-8 (設備ID 無し 小売電気事業者との相対契約)
説明会開催についての周知の方法とその範囲		上田市生田 尾野山地区全戸 回覧と事業基本計画書への記載
説明会の概要	日時	令和 8年 6月 24日 19:00～
	場所	尾野山公民館
	参加者数	11名
	説明を行った者の氏名(法人にあっては、氏名及び役職名)	(株)グリーンプランフォー 事業推進室長 ■■■■■ (株)エクソル ■■■■■

注 1 説明会を 2 回以上開催した場合は、説明会ごとに作成すること。

- (添付資料) 1 説明会で配布した説明資料
- 2 説明会で説明した内容、参加者の要望及び意見並びにそれらへの回答等について具体的に記載した議事録

R8. 6. 24(水) 19:00～ 尾野山公民館

住民説明会資料



事業主：株式会社エクソル 電源開発課

〒135-0061 東京都江東区豊洲5-6-36 豊洲プライムスクエア

TEL：03-5859-5320

施工会社：株式会社 グリーンプランフォー

事業推進室長

〒386-0012 長野県上田市中央2-10-15 千曲錦ビル2階

TEL 0268-71-6750

本日の資料内容

- ・表紙
- ・本日の説明会について
- ・設置予定地
- ・発電所事業データ / 防災対策・維持管理
- ・立面図
- ・配置図

本日の説明会について

本日はお忙しいなかご足労いただき、ありがとうございます

皆さま、本日はお忙しい中、生田地区の太陽光発電事業に関する説明会にお集まりいただき、誠にありがとうございます。
本日の説明会では、皆さまからいただいたご質問・ご意見を踏まえた内容を中心に、より具体的な工事の進め方や安全対策についてご説明させていただきます。

この地域で事業を行うにあたり、皆さまにご理解とご安心をいただくことが何より大切だと考えております。私どもからの一方的なご説明だけでなく、皆さまからのご質問やご意見をしっかりと伺い、誠意をもって対応していくための大切な機会と考えどうぞ最後までお聞きいただき、忌憚のないご意見をお寄せくだされば幸いです。

本日はよろしくお願いいたします。

本件は同地区周辺における2回目の計画となりますが、前回ご説明いたしました事業につきましても着手に向け準備を進めております。

本事業につきましても、関係法令を遵守のうえ、安全面および周辺環境への配慮を十分に行いながら進めてまいります。

なお、雨水対策や安全管理等に十分配慮した計画を立て、近隣にご迷惑をおかけしないよう最大限に努めてまいりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

設置予定地 下図の場所で予定しております



設置予定地

以下の場所で予定しております



発電所事業の概要及び防災対策・維持管理体制について

- ・ 設置場所： 上田市生田字上平1003-3 計1筆
- ・ 敷地面積： 1155 m²
- ・ パワコン容量： 10台 49.5kw (モジュール99.84kw)
- ・ 架台： アルミ架台、傾斜20度
- ・ 基礎： スクリュー杭
- ・ 年間発電量： 約11,0000, kwh
- ・ 工事開始予定： 2026年8月 ～ (2026.6月現在計画)

事業主

〒135-0061 東京都江東区豊洲5-6-36
豊洲プライムスクエア

株式会社エクソル 電源開発課

TEL： 03-5859-5320

緊急連絡先

〒386-0012 長野県上田市中央2-10-15

株式会社 グリーンプランフォー TEL： 0268-71-6750

担当： ■■■ 携帯： ■■■■■■■■■■

防災対策/維持管理

- ・ 雨水処理： 小堤及び素掘り側溝設置（場内浸透処理）
側溝 幅60cm×深さ30cm（配置図参照）
側溝の泥上げ、清掃（適宜）
- ・ 雑草対策： 定期的な除草
- ・ 安全対策： フェンスの設置による外部侵入防止、
看板（高圧注意・侵入禁止）設置による
周囲への注意喚起、門扉の施錠
- ・ 景観対策： フェンスを目立たないブラウン色使用
- ・ 環境対策： 低反射コーティングパネル使用
- ・ 事業終了後： 原状復旧

※ 詳細は、別紙配置図に記載

A

B

C

D

E

F

A

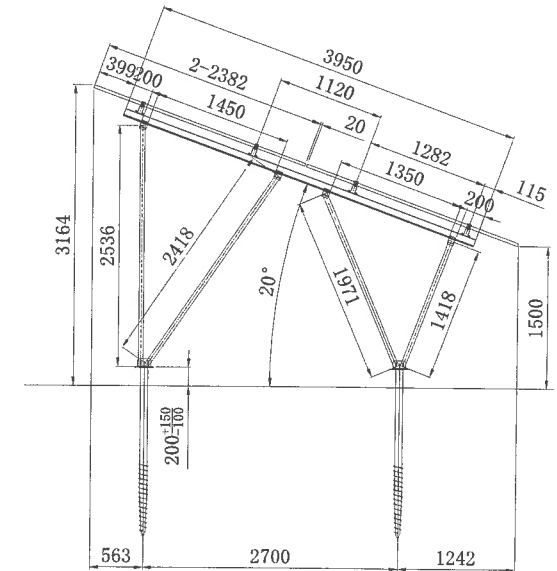
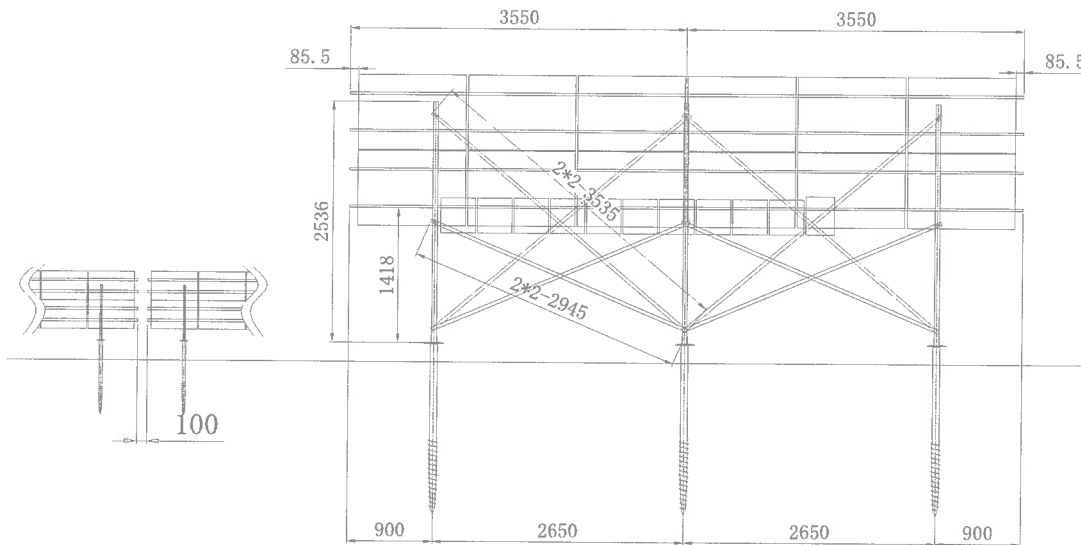
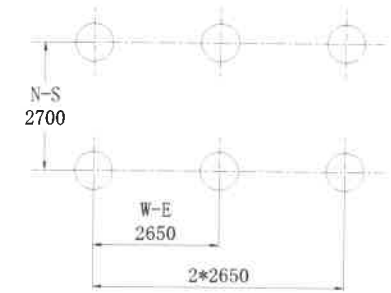
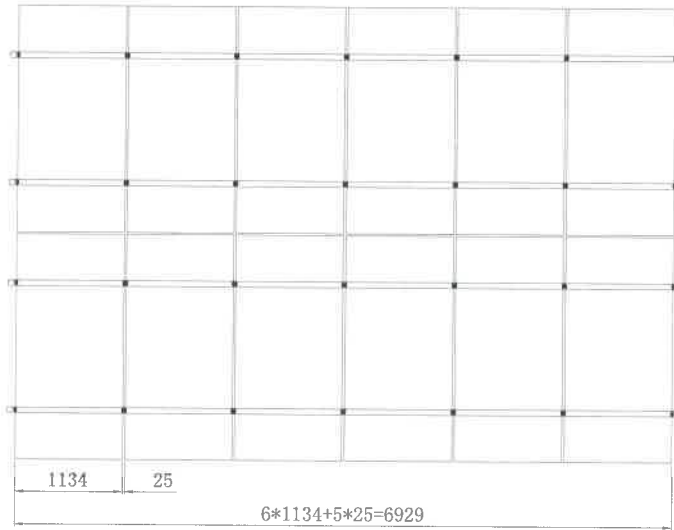
B

C

D

E

F



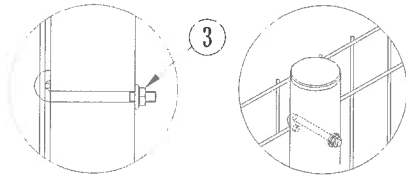
案件番号: DM25-2606048 設計日: 2026.06.22 Rev: V 1.0

案件名: P3425_長野県上田市生田字上平1003番3、1002番5

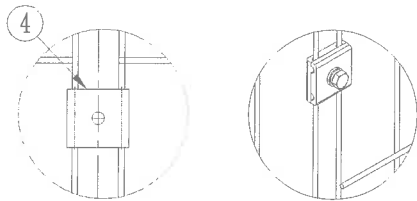
著作権はJM SOLARに有し、許可を得ず、盗用を厳禁し、違反者は必ず追及する。

JM SOLAR
晶兆能源科技
Xiamen Jinmega Solar Technology Co., Ltd.

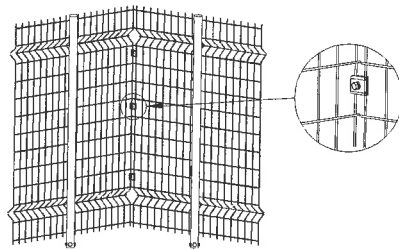
設置角度 (°):	風速 (m/s):	地表面 粗度:	垂直積雪量 (cm):	地域分類:	モジュール:	2382*1134*30mm
20°	30	III 類	63	一般区域	配列:	2*6 (PCS)
					JIS規格:	JIS C 8955:2017
					単位:	mm
					角法:	



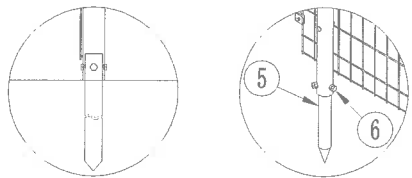
L型ボルト



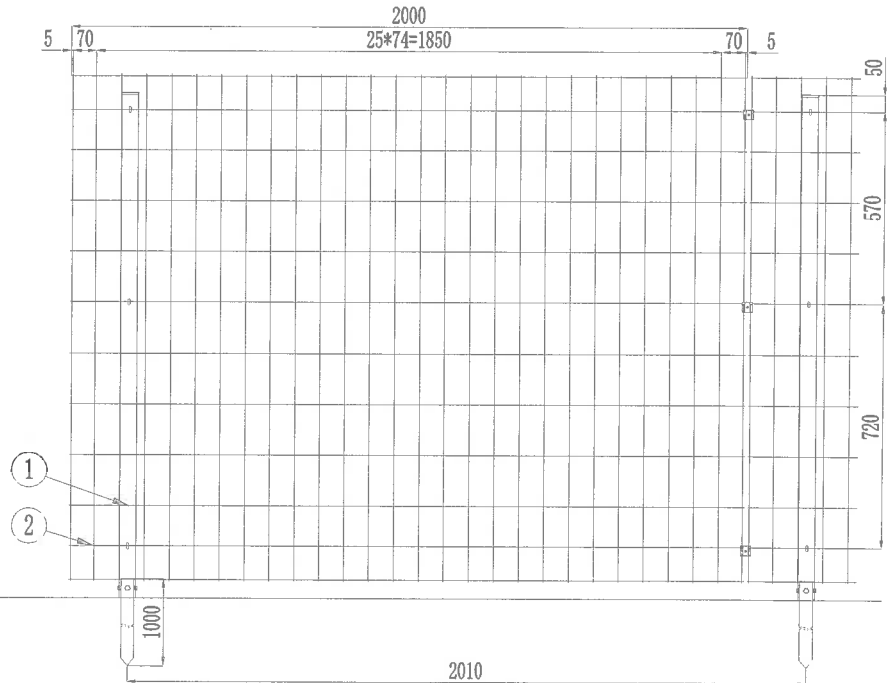
連結金具



連結金具 (コーナー)



フートスクリューの取付図



技術要求:

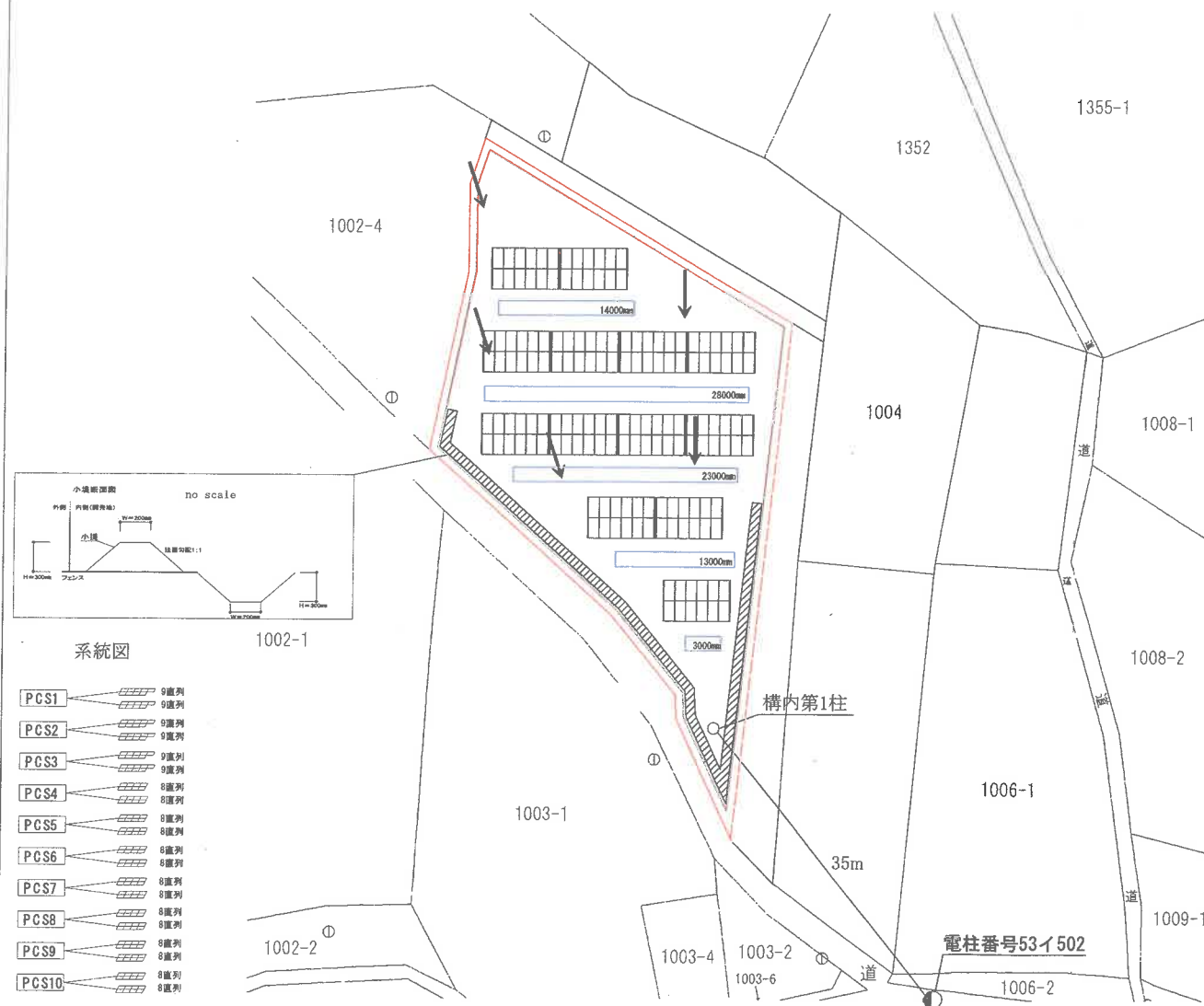
1. アーク溶接ワイヤーは冷間引抜状態であること、
2. 溶接を施す前に、各単体は平坦を矯正し、バリ及びさびを除去することを要求する、
3. 溶接部位は円滑であること、
4. 製品の組み立て検査、ネット片と支柱が嵌合可能であることを確認する、
5. 表面処理: 塗装。塗装層は均一で、艶のあること
a. 茶色 (RAL 8016)
b. 白色 (RAL 9003)

6	NLJ-M8X16	内六角ボルト	M8X16	SUS304	3	
5	JM-DD38-1000	フートスクリュー	Φ38*2	Q235	1	亜鉛めっき
4	JM-BR-FC-02	連結金具	—	—	3	
3	JM-L-M6X70	L型ボルト	M6*70	SUS304	3	
2	JM-FC-WP-1500-T-DP	網	75*150	Φ3.0	1	
1	JM-FC-02-S-1500-DP	支柱	Φ48x2	Q235	1	キャップを含む
番号	部品番号	部品名	規格	材質	部品数量	備考
JM SOLAR 晶 兆 能 源 科 技 Xiamen Jinmega Solar Technology Co., Ltd.			品 名:	杭式 フェンス(三角)		
			品 番:	JM-FC-02B-1500-T-DP		
			材質:	—	表面処理:	面積:
			作 図:	—	塗装	—m ²
			校 正:	—	縮 尺:	—kg
			批 准:	—	バージョン番号:	枚 数:
			承 認:	—	1:1	V1.0
			日 付:	—	2022.03.22	第1角法:
			プロセス:	—	—	—

著作権はJM SOLARに有し、許可を得ず、盗用を厳禁し、違反者は必ず追及する。

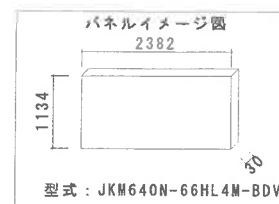
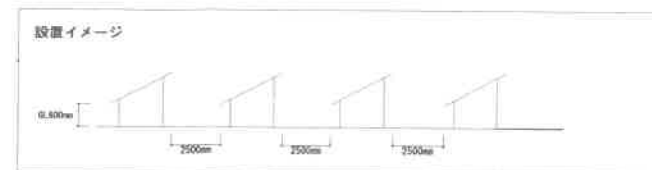
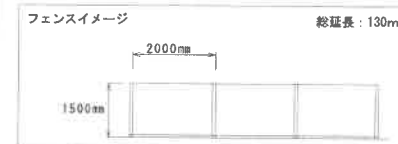
GP032

長野県上田市生田字上平1003-3, 1002-8



系統図

PCS1	9直列
PCS2	9直列
PCS3	9直列
PCS4	8直列
PCS5	8直列
PCS6	8直列
PCS7	8直列
PCS8	8直列
PCS9	8直列
PCS10	8直列



雨水浸透土側溝	雨水浸透土側溝
フェンス	フェンス
敷地境界線	敷地境界線
雨水の流れ	雨水の流れ
小堤	小堤

工事名	太陽光発電設備設置工事	
発電出力	出力容量 49.5kw	モジュール容量 99.84kw
モジュール	JKM640N-66HL4M-BDV (2382×1134×30) 156枚	
太陽光発電設備	421.39㎡(パネル1枚2.701㎡×156枚)	
PCS	SUN2000-4.95K-LB0-NH×1台 SUN2000-4.95KTL-NHL2×9台	
架台	アルミ架台/角度20度/スクリー杭基礎	
パネル方位	真南0度	
設置場所	山林	
登記簿面積	1155㎡(1003-3), 209㎡(1002-8)	
事業面積	1364㎡	
雨水計画	土側溝面積: ㎡	フェンス総延長: 150m

図面名

太陽光モジュール配置図

縮尺

1/500

作成日

2026/5/27

作成者

モジュール枚数・容量

640W×156枚=99.84kW

説明会経過報告書

令和 8 年 6 月 24 日

届出者 住所 長野県上田市中心 2-10-15 千曲錦ビル二階
氏名 株式会社グリーンプランフォー
代表取締役 小林桂三

住民等への説明経過について、次のとおり報告します。

1 開催日時	R 8 年 6 月 24 日 (水) 19 : 00 ~ 20 : 30
2 開催場所	尾野山公民館
3 出席者	説明者 : (株)エクソル [REDACTED] (株)グリーンプラン・フォー [REDACTED] 出席者 : [REDACTED] [REDACTED] [REDACTED] 計 11 名
4 説明内容	別添資料参照
5 質疑等 (事業者の回答を 含む)	別紙参照
6 その他	
7 記録者	(株)グリーンプラン・フォー [REDACTED]

用紙が不足する場合は、別紙の添付も可能

別紙

5 質疑等
(事業者の回答を
含む)

Q: 売電価格は以前より下がっていますが、これから太陽光事業は利益が出るのでしょうか。儲からない事業ではないですか。災害が起きる危険を犯してまで事業を行う意味はあるのか。

A: おっしゃる通り売電価格は以前より下がっています。しかし事業としては成り立っている為今回の計画をしています。また災害についてご心配されるお気持ちは理解しています。そのため、法令や条例を守るのはもちろん、排水計画や造成方法なども十分に検討し、安全性に配慮した設計・施工を行います。

Q: このあたりは獣が出るので、気持ちとしては電気柵を付けてもらえると安心です。

A: 現時点では、電気柵を設置する予定はありませんが、ご意見として参考にさせていただきます。

Q: 昨今は異常気象によるゲリラ豪雨などが増えていますが、水害は大丈夫なのでしょうか。

A: 近年の豪雨については十分に認識しております。^{上田市}~~長野県~~の条例では、雨水は原則として場内で浸透処理を行うことが求められており、本計画においても素掘りの側溝を設置し、場内で雨水を浸透させる計画です。また、浸透検査を行ったうえで雨水計算をしています。通常想定される降雨量に対して約 1.3 倍の余裕を見込んで計算を行っており、適切な排水能力を確保する設計としています。

Q: 本当に雨水は浸透するのでしょうか。オーバーフローして池に土砂が流れ込んだ場合はどうするのでしょうか。

A: 計算上は浸透いたします。また、素掘りの側溝に加えて土砂の流出を防ぐため西、南、東面に小堤を設置する予定となります。万が一流出した場合は必要な対応を行います。

Q：傾斜がある為心配です。

A：傾斜の対策の為段々畑上の造成を行う予定です。

Q：池へ土砂が流出する可能性がある為、「池に流出した土砂を全て引き上げる」旨を協定書に明記してほしい。

A：協定書への記載内容については、自治会長様と協議いたします。また、災害が発生しないよう設計、施工致します

Q：一度目の説明会箇所と今回の箇所の今後のスケジュール感を教えてください

A：前回説明会をおこなった箇所については7月に伐採を行い8月には工事に入る予定です。今回の箇所については条例の許可が下り次第施工を行う予定です。

Q：伐採した木材はどうしますか？

A：地元の方から薪に使用したいとお話がある為お譲りする予定です。

Q：雑草のメンテナンスはどうしますか？

A：定期的に草刈りを行います。

Q：除草剤を使用することで地すべりのリスクが上がりますがどのように考えていますか？

A：おっしゃる通りです。現在除草剤を使用する予定はありません。また地主様からこの地区では当該地の南側の池の水を米作りに利用していると伺っており、事前に除草剤の使用を抑えるよう協議しておりました。

Q：賛助会費を年間一万円いただいていますお支払いいただけますか？

A：お支払いさせていただきます。

Q：道幅が狭いですが、トラックは通れますか？

A：2t車であれば通れると思います。フェンス等ありますが、事故の無いようご迷惑をおかけしないよう努めます。

	Q：工事車両の進入路を教えてください A：西側からの侵入を予定しています。 Q：周辺道路の舗装は薄い為道を壊さないようにしてほしい A：道路を傷めないよう十分注意いたします。 Q：防草シートは使用しますか？ A：今回の予定地では防草シートを使用せず、雑草対策としては定期的に草刈りを行います。 Q：今回の説明会には㈱グリーンプランフォーと㈱エクソルの二社が同席しているが関係性について教えてください。 A：現在の事業者はエクソル様になります。弊社は地元の企業としてエクソル様の申請の補助を行っております。また施工に関しても弊社で行います。 Q：今後事業社が変わることはありますか A：はい。本事業は、完成後に事業者が変更となる予定です。事業承継後も、関係法令や協定等に基づき、適切な維持管理が継続されるよう対応いたします。 Q：緊急時はどこに連絡すればいいのか明確にしてほしいです？ A：緊急連絡先については協定書に記載する予定です。また、発電所に設置する看板に記載しています。 工事に関する問い合わせについては弊社にご連絡ください
--	---

上記の内容を確認しました。

日付：令和8年 7 月 23 日

署名：

